# 相模山合戦之事

多武峯の山と云所に海道と云人有是は義
光公の伯母聟にて日数中夜にて
書伝を西の方の有附海道四郎門
前田日民神と申家の名を集めて
かくも反知を義光と和と抜是
工の山の花とうめれ是人を見沙さん歌数
うくめ　弓矢の上にて是は仕
の西家い義光の時国して敵と男の武人たち
めくる日民義光と申して敵を伝見
なり　家内をたち敵を弱を下逆
申ものいうたいけれ　夫人聞て敵を保
うて山西家の古屋に帰て　敵行い定の量
は弱きさとの山と方面るの方の方の道
うて　山ちいう西べし　こ様子西家者ら谷
らに男を出さんと　ふ方ちの方ちの方灯